

ひっ算の計算のしかたを考えよう

単 元	たし算とひき算のひっ算（１）	対象学年	２ 年
ね ら い	（２位数）±（２位数）の筆算の仕方を理解し，計算することができる。		

1 準備するもの

教師：Scratch2(ver. 2.0)で作成したプログラム

- ・（２位数）＋（２位数）で繰り上がりのない筆算
- ・（２位数）＋（２位数）で一位数に繰り上がりがある筆算
- ・（２位数）－（２位数）で繰り下がりのない筆算
- ・（２位数）－（２位数）で繰り下がりがある筆算

2 学習のしかた

（１）場面把握をする。

筆算の式を見せて，どのように計算していけばよいかを考えさせる。

（２）課題設定をする。

場面把握のなかで，出てきた子どもの気づきから課題設定をする。

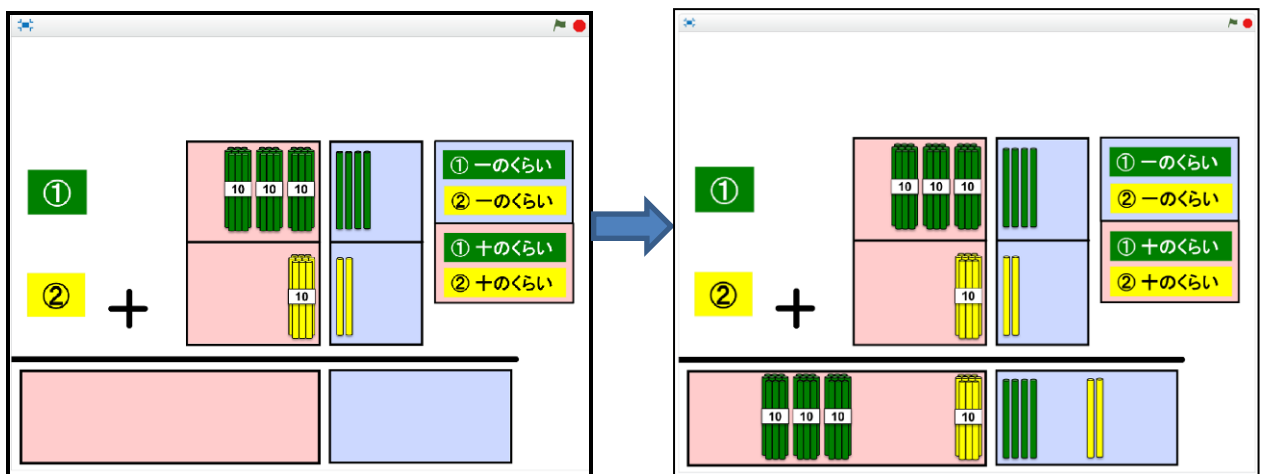
（例）くり上がりのあるひっ算の計算のしかたを考えよう

※できるだけ子どもの言葉から，課題を設定する。

（３）例題を解く。

例題を解き，解説の際にScratch2で作成された例題をパソコン室の大型ディスプレイに投影し，数え棒の動きを見る。

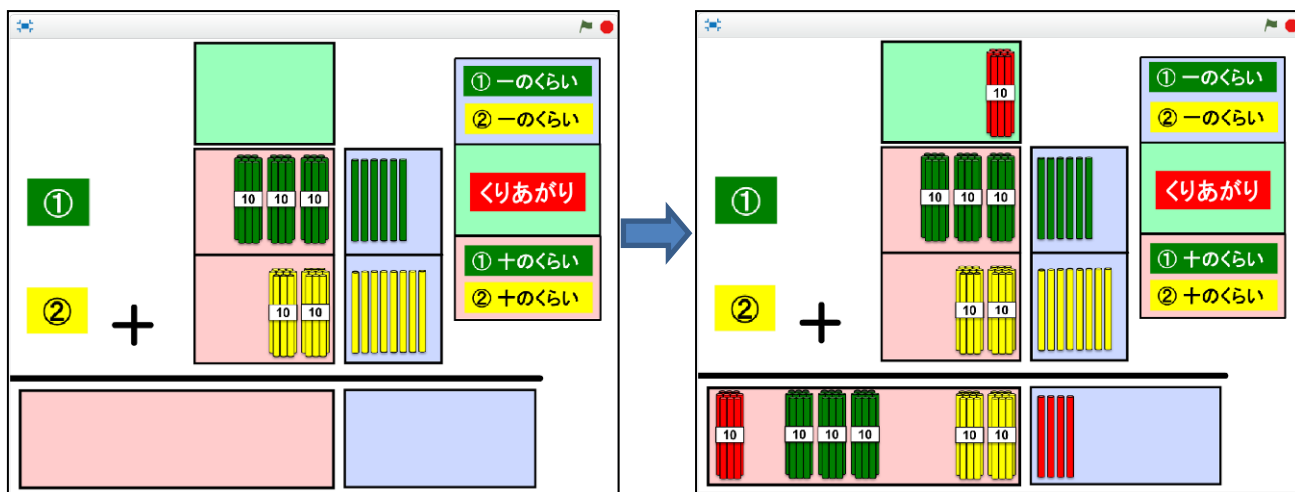
（例）繰り上がりのない筆算のたし算



(4) 練習問題を解く。

例題の解説と、Scratch2 のプログラムの操作方法を指導した後、練習問題を解く。Scratch2 の画面にある緑の旗をクリックすると、問題がランダムに変化するように設定してあるので、問題に回数の制限なく取り組むことができる。また、問題を解くことができれば、Scratch2 で答え合わせを行う。

(例) 一位数に繰り上がりがあるたし算



【練習問題を解く子どもの様子】

3 学習上の留意点

- ・プログラムの操作方法や手順をノートに記載し、いつでも確認できるようにしておく。

4 学習の効果

- ・たし算、ひき算の筆算の計算の仕方を数え棒が動く様子を見て、視覚的に理解することができる。